

<b>B104</b>	<b>妖怪文化論 A</b>		
英名科目名	Culture and Conceptions of the Strange A		
大学名	京都先端科学大学		
連絡先	教務センター（京都太秦キャンパス） TEL：075-406-9123		
担当教員	木場 貴俊（人文学部・歴史文化学科准教授）		
開講期間	2021年04月06日（火）～2021年07月20日（火） 5講時 16時00分～17時30分（毎週火曜日） 2021/05/04(火)みどりの日は授業なし		
開講形態	前期・春学期	開講曜日・講時	火曜日 5講時
単位数	2	履修年次	全学年
会場	京都太秦キャンパス		
授業定員			
単位互換生定員	20	京カレッジ生定員	10
試験・評価方法	毎回のコメント提出による授業参加度・授業理解度（30％）、学期末レポート（70％）		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	料14,000円（初回登録時に登録料として30,000円が別途必要）聴10,000円		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	受講条件・受講のルール・学修上の助言など： 板書を中心に、パワーポイントや映像を使った講義形式で行う。 授業ごとに、授業に対する意見などのコメントを提出してもらうので、積極的に参加する気持ちで授業に臨むこと。 教室について： 決定次第、「お知らせ」へ掲示します。不明な点があれば連絡先まで問い合わせください。		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
【講義概要】 日本では、常識では計り知れない異常な物事を、妖怪や怪異、化物、不思議と呼んできた。いま妖怪といえば、名前を持つ異形の存在を思い浮かべるが、本来その多くは目に見えない、音や感触でしか知覚することができなかった。そうした個人体験が語られ共有されていくなかで妖怪文化は生まれてきた。その中で、人びとは、名付けや記録、造形、芸能、儀礼などを通して妖怪への理解を深めてきた。こうした妖怪に関する日本文化は、世界からも注目されている。 妖怪文化論Aでは、日本の妖怪文化について、さまざまな角度から考えていく。日本の妖怪は一体どのように理解されてきたのか、その歴史や研究手法だけでなく、エンターテイメントなど現在の状況についても見ていく。さらに、モンスターなど、世界の妖怪的な存在と比較することで、日本の妖怪の特色を明らかにしていく。妖怪文化を考えることが、日本文化全体をより広く深く考えるきっかけになることを目指す。			
【到達目標】 妖怪文化の特徴を理解する。 講義で取り上げた資料を読解し、理解する。 妖怪文化に関する情報収集・調査ができるようになる。			
講義スケジュール			
第01回 イントロダクション 辞書で「妖怪」に関する言葉を引いてみる 教育方法 講義 授業外学修 予習：辞書で「妖怪」という言葉を引いておくこと。 復習：配布資料やノートで復習し、関心があれば参考文献にあがった本を読むこと。			
第02回 妖怪文化研究史 近代 教育方法 講義 授業外学修 予習：「井上円了」「柳田国男」について調べておくこと。 復習：配布資料やノートで復習し、関心があれば参考文献にあがった本を読むこと。			

た本を読むこと。

第03回  
妖怪文化研究史 昭和後期～現在  
教育方法 講義  
授業外学修  
予習：「宮田登」「小松和彦」について調べておくこと。  
復習：配布資料やノートで復習し、関心があれば参考文献にあがった本を読むこと。

第04回  
エンターテイメントにおける妖怪文化 水木しげる  
教育方法 講義  
授業外学修  
予習：「水木しげる」について調べておくこと。  
復習：配布資料やノートで復習し、関心があれば参考文献にあがった本を読むこと。

第05回  
エンターテイメントにおける妖怪文化 21世紀  
教育方法 講義  
授業外学修  
予習：2021年春季に放送されているアニメーションで「妖怪」が登場する作品を調べておくこと。  
復習：配布資料やノートで復習し、関心があれば参考文献にあがった本を読むこと。

第06回  
妖怪の日本史 古代  
教育方法 講義  
授業外学修  
予習：「天人相聞説（災異説）」について調べておくこと。  
復習：配布資料やノートで復習し、関心があれば参考文献にあがった本を読むこと。

第07回  
妖怪の日本史 中世  
教育方法 講義  
授業外学修  
予習：「謡曲」について調べておくこと。  
復習：配布資料やノートで復習し、関心があれば参考文献にあがった本を読むこと。

第08回  
妖怪の日本史 近世  
教育方法 講義  
授業外学修  
予習：「林羅山」について調べておくこと。  
復習：配布資料やノートで復習し、関心があれば参考文献にあがった本を読むこと。

第09回  
江戸怪談と妖怪文化  
教育方法 講義  
授業外学修  
予習：「合巻」と「読本」について調べておくこと。  
復習：配布資料やノートで復習し、関心があれば参考文献にあがった本を読むこと。

第10回  
現代怪談と妖怪文化  
教育方法 講義  
授業外学修  
予習：聞いたことがある怪談があれば思い出しておくこと。  
復習：配布資料やノートで復習し、関心があれば参考文献にあがった本を読むこと。

第11回  
絵画に見えたる妖怪  
教育方法 講義  
授業外学修  
予習：「鳥山石燕」について調べておくこと。  
復習：配布資料やノートで復習し、関心があれば参考文献にあがった本を読むこと。

第12回  
妖怪のあらわれる場所  
教育方法 講義  
授業外学修  
予習：妖怪はどんなところに現れるのか、イメージする場所を考えておくこと。  
復習：配布資料やノートで復習し、関心があれば参考文献にあがった本を読むこと。

第13回  
災厄と妖怪  
教育方法 講義  
授業外学修  
予習：「アマビエ」について調べておくこと。

復習：配布資料やノートで復習し、関心があれば参考文献にあがった本を読むこと。

第14回

妖怪の比較文化論 鬼神

教育方法 講義

授業外学修

予習：「鬼神」について調べておくこと。

復習：配布資料やノートで復習し、関心があれば参考文献にあがった本を読むこと。

第15回

妖怪の比較文化論 驚異とモンスター

教育方法 講義

授業外学習

予習：「驚異」について調べておくこと。

復習：配布資料やノートで復習し、関心があれば参考文献にあがった本を読むこと。

教科書	なし。
参考書	適宜紹介する。